

# 2018年2月期 決算説明会



2017年11月22日にオープンした  
ラルズマート桜町店  
(旧スーパーチェーンシガ桜町店、ラルズ)



2017年11月23日にオープンした  
スーパーアークス東光  
(旧ビッグハウス東光店、道北アークス)

株式会社アークス  
代表取締役社長 横山 清

# 2018年2月期 業績サマリー 2019年2月期 業績予想

- (1)2018年2月期 連結業績サマリー①
- (2)2018年2月期 連結業績サマリー②
- (3)子会社別 営業利益の状況
- (4)利益配分の状況
- (5)2019年2月期 連結業績予想①
- (6)2019年2月期 連結業績予想②

株式会社アークス  
取締役常務執行役員  
古川 公一

# (1)2018年2月期 連結業績サマリー①



Always Rising Community Service

**売上高は過去最高 営業利益・経常利益は微減  
当期純利益は実質増益**

(単位:億円)

		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	金額	1,276.1	1,311.2	1,225.1	1,327.2	5,139.6
	前年差	9.2	△1.9	△2.5	8.3	13.1
	<前年比>	<100.7%>	<99.9%>	<99.8%>	<100.6%>	<100.3%>
既存店売上高	<前年比>	<100.9%>	<100.1%>	<99.9%>	<100.8%>	<100.4%>
売上総利益	金額	309.6	322.3	305.8	336.9	1,274.6
	前年差	1.9	4.3	2.3	4.0	12.5
	売上総利益率	24.3%	24.6%	25.0%	25.4%	24.8%
	<前年差>	<±0.0%>	<+0.4%>	<+0.3%>	<+0.2%>	<0.2%>
販管費	金額	277.6	284.3	278.1	290.1	1,130.2
	前年差	3.9	5.8	3.3	3.6	16.6
	販管费率	21.8%	21.7%	22.7%	21.9%	22.0%
	<前年差>	<+0.2%>	<+0.5%>	<+0.3%>	<+0.2%>	<0.3%>
営業利益	金額	32.0	38.0	27.6	46.8	144.4
	前年差	△2.0	△1.5	△1.0	0.4	△4.1

## (2)2018年2月期 連結業績サマリー②



Always Rising Community Service

(単位:億円)

		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
営業外損益	金額	3.7	3.8	3.5	8.3	19.3
	前年差	0.6	△0.1	△1.7	① 4.3	3.1
経常利益	金額	35.7	41.8	31.1	55.1	163.7
	前年差	△1.4	△1.6	△2.7	4.7	△1.0
特別損益	金額	△0.6	△0.5	△1.2	△11.1	△13.4
	前年差	△0.1	1.1	1.3	6.5	② 8.8
法人税等	金額	12.2	13.7	10.1	11.7	47.7
	前年差	2.4	3.7	2.3	1.8	③ 10.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	金額	22.9	27.6	19.8	32.3	102.6
	前年差	△3.9	△4.2	△3.7	9.4	△2.4

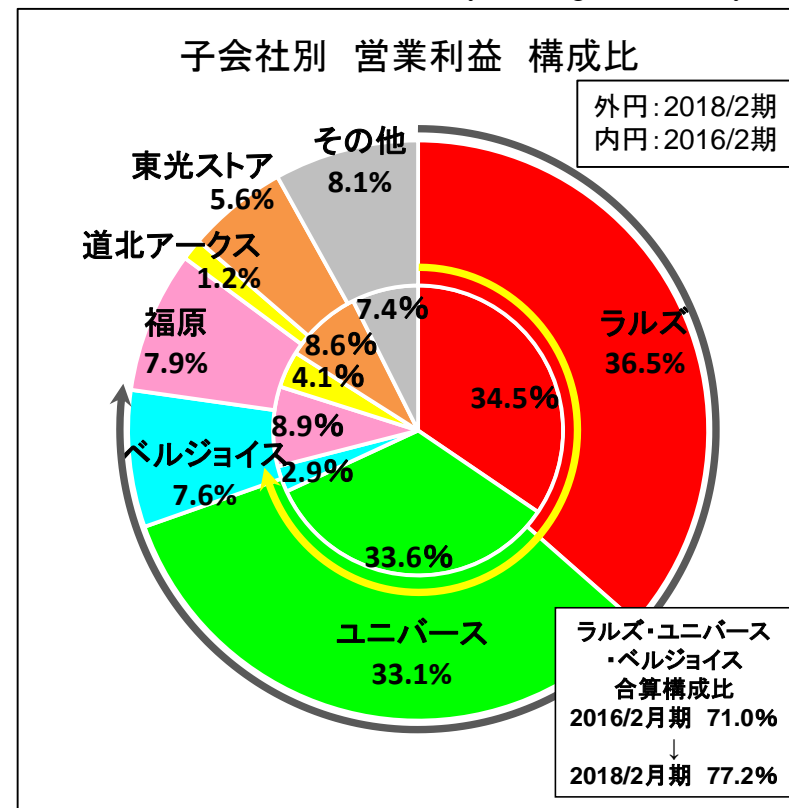
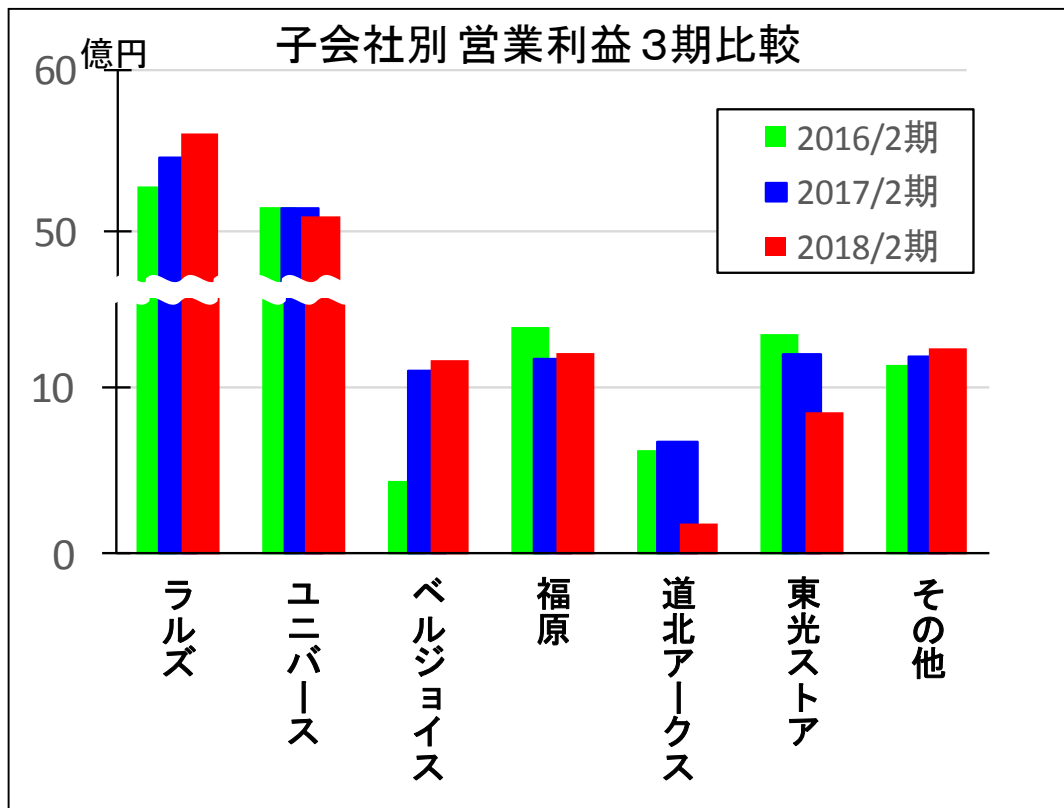
注① ユニバースの補助金(津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金)収入3.9億円など。

② 特別損益の前年差:減損損失が3.3億円減少、貸倒引当金繰入額が1.2億円減少、固定資産売却益1.0億円 など。

③ 2017年2月期の法人税等負担率を2018年2月期と同率(31.7%)と仮定すると、2017年2月期の親会社株主に帰属する当期純利益は97.2億円となり、実質5.4億円の増益(前期はベルジョイスの繰延税金資産の回収可能性見直しにより法人税等負担が低下)。

### (3) 子会社別 営業利益の状況

Always Rising Community Service



※その他: 道南ラルズ、道東アークス、エルディ。2016年2月期におけるベルジョイス及び道東アークスの決算数値は、夫々旧ジョイス・旧ベルプラス、旧道東ラルズ・旧篠原商店の単純合算。

### (4) 利益配分の状況

- **増配** : 2期連続で一株当たり期末配当金を2円増額 → 当期年間配当金は 1株当たり**48円**
- **自己株式取得** : 2017年度は2回の自己株取得実施 (合計取得株式数600千株、取得金額15億円)

# (5)2019年2月期 連結業績予想①



(単位:億円) Always Rising Community Service

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2019/2期 (予想)	上期	2,625	75.0	83.5	55.0
	下期	2,595	72.0	80.3	45.0
	<b>通期</b>	<b>5,220</b>	<b>147.0</b>	<b>163.8</b>	<b>100.0</b>
	(通期)前期差	80	2.6	0.1	△2.5
	(通期)前期比	101.6 %	101.8 %	100.1 %	97.5 %

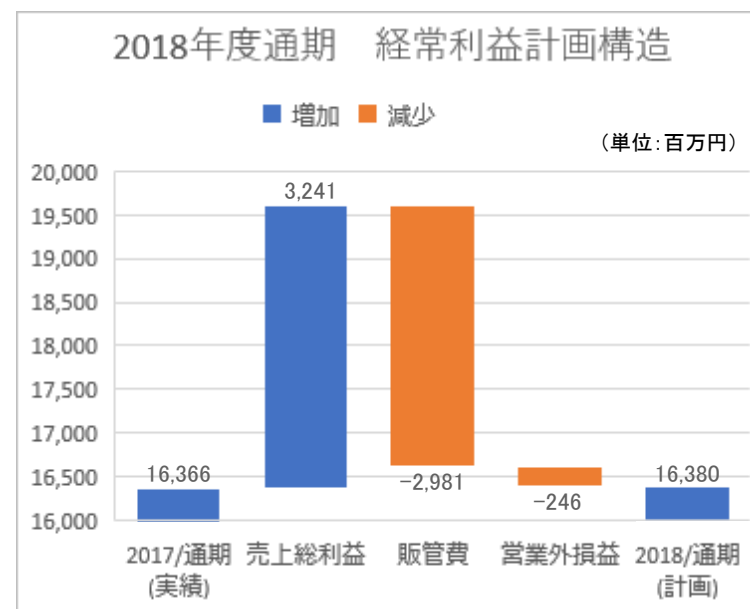
## 2019年2月期業績予想のポイント

### 1. 2019年2月期業績計画(経常利益)構造

- (1) 売上総利益増額 3,241百万円
- (2) 販管費 ▲2,981百万円
- (3) 営業外損益 ▲246百万円

※特殊減益要因

- ① 新システム費用 ▲1,672百万円
- ② ユニバース補助金 ▲390百万円



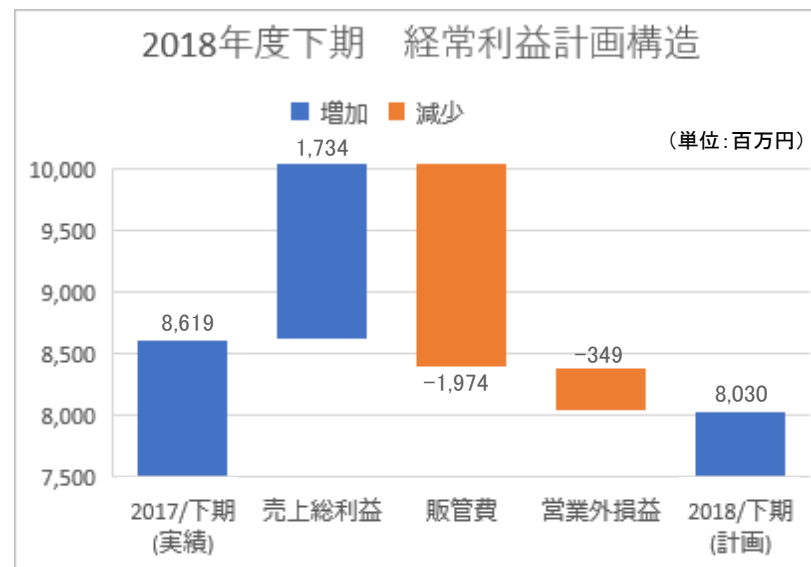
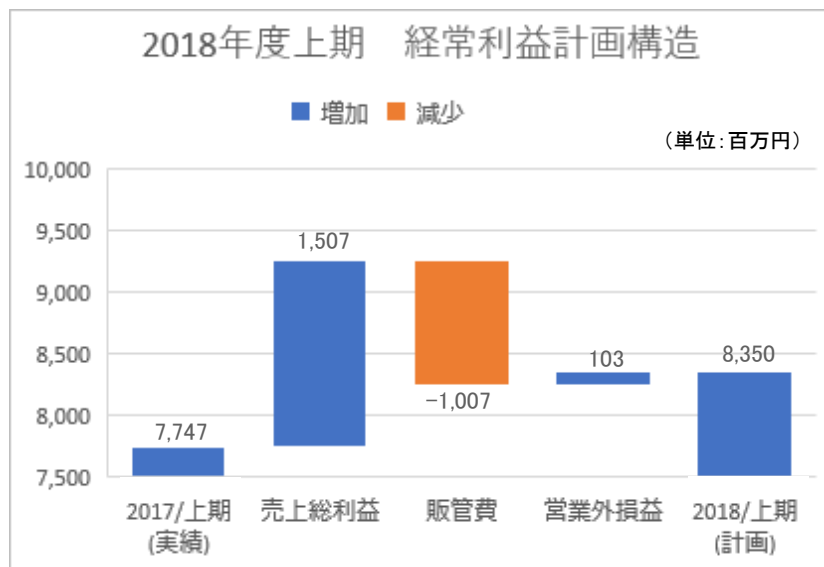
# (6)2019年2月期 連結業績予想②

Always Rising Community Service

## 2. 売上増、システム効果含む利益率増、及びコスト削減による増益を計画

(1)売上総利益率増加(子会社計画+0.3%)策	合計	<u>15.8億円</u>
①センター供給増・稼働率UP、ロス率低減、不振部門の改善他		11.0億円
②商流改革 : システム稼働にあわせ商流を集約し、最適商流を実現		3.1億円
③物流改革 : エリア別物流体制の一元化、効率的な低温物流の構築		1.7億円
(2)販管費削減施策 : 水道光熱費、賃借料、カード手数料他	合計	<u>5.7億円</u>

## 3. 減益要素は下期に偏在、上期で稼ぎ、下期はシステム効果拡大を狙う



# アークスグループの取り組み

- (1) 激変する経営環境
- (2) システム統合基盤構築プロジェクト
- (3) 期待されるシステム効果
- (4) 平成30年 年頭所感

株式会社アークス  
代表取締役社長 横山 清

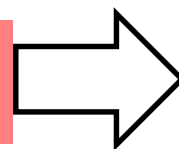


## (1) 激変する経営環境

- 消費者マインドの低迷
  - 物価上昇懸念、来年(2019年)10月の消費増税
- 経営問題化してきた労働者不足
- 大手小売業の戦略変更 ⇒ システム投資拡大と地域マーケットの深耕
- アマゾンエフェクト、ドラッグストアの伸長
- AI/IoT/RPAなどの技術革新が実社会、実店舗で顕在化

激変する環境変化に対するアークスグループとしての打ち手

システム統合基盤構築プロジェクト



1兆円体制への布石

## (2) システム統合基盤構築プロジェクト

Always Rising Community Service

### < 新システムの特徴 >

- ・独自の食文化、地域性、商習慣が多い日本のスーパーマーケット業界において、
  - 世界で活用されているSAP(ERPソフト)の導入を通じ、業務を標準化
  - 店舗業務など、特殊で操作性が求められる領域は工数かけてカスタマイズ
  - 業務見直し、端末の刷新により現場業務の効率化、軽減化を実現
- ⇒ **ハヶ岳連峰経営を進化(共通部分の統一化と各社の営業の独自性は担保)させるシンプルで統合的なシステム**
- ・新技術への対応: AI活用の布石(AIによる客数予測を踏まえた自動発注など)
- ・今後のグループ参加企業に対しても迅速かつ容易に対応
- **従来にない業務変更を伴うシステム導入を万全にするため、十二分な準備期間を確保**  
従業員向けユーザー確認会を実施済(3月)、お取引先向けに説明会を実施予定(5月以降予定)  
4月以降随時システムテスト、運用テスト、移行リハーサル実施

**2018年9月 : 新システム本稼働**

## (3) 期待されるシステム効果

### グループシナジーの追求

#### ● 商流統一、商品調達力強化

✓ アークス統一商品分類コードの制定 (2018年2月)、組織強化・GM増員 (2018年3月)

#### ● 物流改革

✓ エリア別の物流体制の一元化 例:ラルズ・東光ストアの物流(センター、配送)一元化

### 業務の標準化・効率化

#### ● 経営分析

✓ モノサシの統一 (例:会計領域の勘定科目の統一⇒コストの見える化)

✓ KPI(重要業績指標)導入 (グループ全店舗、全部門の見える化)

#### ● 店舗運営情報共有会の活用

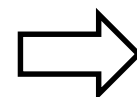
✓ 不明ロス削減によるコスト削減 ✓ ID-POSを用いた顧客管理知見の共有化 など

⇒ 現場レベルでの  
各社比較が可能に

### 新パートナーのグループ入り

#### ● 「標準化」と「業界特殊性」を両立

#### ● 業界標準プラットフォーム構築



1兆円グループへの足掛かり

# (4) 平成30年 年頭所感

Always Rising Community Service

真ごころこめて お客さまファースト！  
 世界を変える シンギュラリティは 間近い  
 AI時代に生き残る、努力と投資で  
 サービス力と新システム力を 融合させて  
 業態を超えた 激闘に 勝利する

五項俱全、贏也必然

贏

亡 危機感  
 口 コミュニケーション  
 月 時間  
 貝 資金  
 凡 平常心

- 亡 犠牲精神（危機感）
- 口 口碑傳播（コミュニケーション）
- 月 日積月累（時間）
- 貝 利用資源（お金）
- 凡 小事做起（平常心）

危機感をもち  
 コミュニケーションを取る  
 時間をかけ、資金も必要  
 平常心をもって行動すれば 必勝。

かつ、エイ、まさる、あふれる、もうけ

真ごころこめて お客さまファースト！

**お客様第一主義**  
世界を変える シンギュラリティは間近い

**技術的特異点**  
A.I時代に生き残る、努力と投資で

**に備えて全社が**  
サービス力と新システム力を融合させて

**心技一体で新**  
業態を超えた激闘に勝利する

**流通戦に贏つ**  
かつ = エイ

平成30年元旦  
まさる あふれる もうけ

社長 横山 清

